

■(1)防災・震災対策による災害に強い道づくり【事後評価】

項目	委員の意見	評価監視委員会のご意見を踏まえた今後の対応方針
意見・要望 (中東委員)	調査した幹線道路のうち、ひび割れ率が大きく修繕対象としたものについて、ホームページ等で情報を公開していただき、市民に道路の現状を目の当たりにしていただいたほうがよいのではないか。	現在は、市のホームページで道路延長や維持管理の内容などの建設事業概要を公開しています。 更に、社会資本整備総合交付金による舗装修繕の対象事業については、点検結果や現状及び修繕後の状況写真などをホームページなどにより公開していきます。
指標 (大川委員)	目標設定において、達成可能な水準を目標とするより、予算が潤沢にあったと仮定して本来ならやらなければいけない数値を目標とし、予算が無いために実際はこれだけしか達成できませんでしたという見せ方をしたほうがよいのではないか。	現状での維持修繕に今後見込まれる必要経費については、新潟市財産経営推進計画で公表しています。 社会資本整備総合交付金の整備計画は、事業の実施計画であることから、財政状況や優先順位などを踏まえ、現実的な目標設定とし進行管理を徹底しています。
意見・要望 (山賀委員)	道路の維持管理で今後見込まれる必要な経費に対し、予算繰りができておらず、将来に先送りされている状況を広報し、伝えていくことが大事と思う。	現状での維持修繕に今後見込まれる必要経費については、新潟市財産経営推進計画で公表しています。 今後も続く厳しい財政状況を踏まえ、予防保全型と事後保全型の維持管理の使い分けや、計画的な点検・診断、修繕・更新を実施することにより、施設の長寿命化及びトータルコストの縮減・平準化を図ります。 また、生産性の向上に向け、新工法やICTなどを活用し、より効率的な事業進捗に努めていきます。